世界から見た
JPNICの登録情報

Matsuaki 'maz' Yoshinobu

<maz@iij.ad.jp>

JPNICのデータを世界にどう見せるか

- 参照側システムが賢いので比較的大丈夫
  - 逆引きDNS(RDNS)
  - RPKI
- 知名度が高くてなんとかなってる(将来は知らん)
  - JPIRR
- ある意味混迷
  - WHOIS
  - RDAP

maz@iij.ad.jp

JPNIC WHOISの英語対応

- JNNIC WHOISに'/e'をつけて検索すると出てくる
- その他、JPNIC DBの英語版をAPNICに複製
  - APNICが問い合わせを受けた時に「Source: JPNIC」で応答

- 落とし穴１：全てが複製されているわけではない
- 落とし穴２：もはやみんなremarks読まないって
- 落とし穴３：クライアント実装によって色々違う
- 落とし穴４：歴史的資源と移転…

問題意識

- 番号資源のWHOIS登録情報を参照できない場合がある
  - 世界にいる普通の人
  - 使っているのは標準コマンド

- 自動化への障壁になる
  - レコードを探すために必要な事前知識が多すぎる
  - 運用コストが高い

MacOS — OpenBSD由来なWHOIS

- WHOISから得られた参照を追いかける
- APNICに複製された英語版の情報を応答
  - それ以外にも関連情報多すぎ

maz@iij.ad.jp

Debian bookworm – WHOIS 5.5.17

- IPアドレスブロック毎など、資源分配に応じた問い合わせ先を事前に持っている
  - すごいね
  - 移転はそんなに追っかけていない
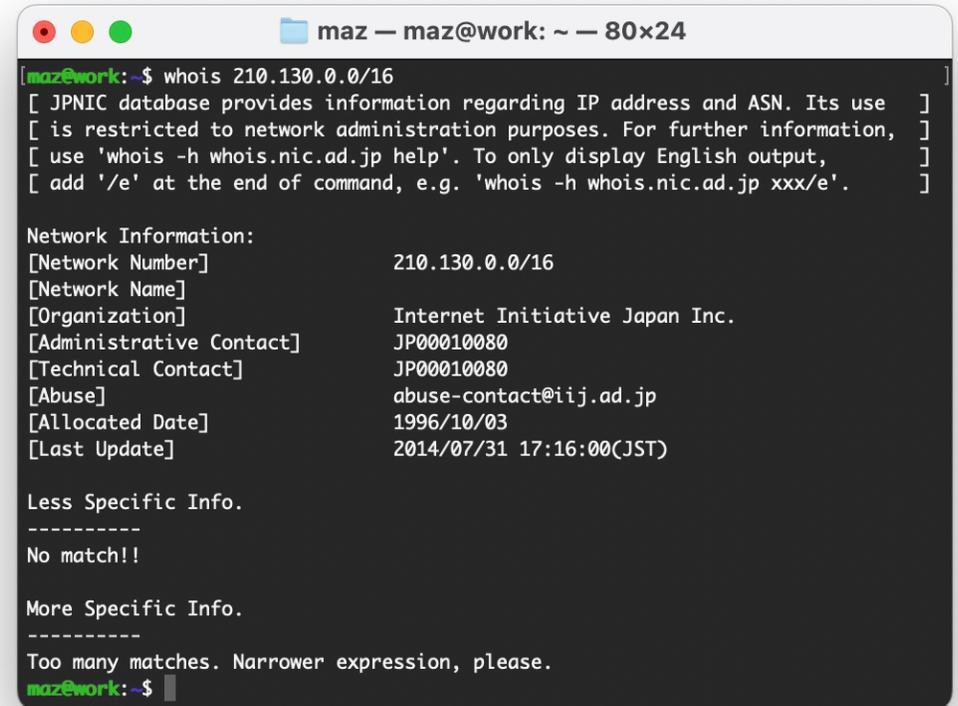
```
maz@work:~$ whois 210.130.0.0/16
[ JPNIC database provides information regarding IP address and ASN. Its use   ]
[ is restricted to network administration purposes. For further information,  ]
[ use 'whois -h whois.nic.ad.jp help'. To only display English output,        ]
[ add '/e' at the end of command, e.g. 'whois -h whois.nic.ad.jp xxx/e'.      ]

Network Information:
[Network Number]                210.130.0.0/16
[Network Name]
[Organization]                  Internet Initiative Japan Inc.
[Administrative Contact]         JP00010080
[Technical Contact]              JP00010080
[Abuse]                          abuse-contact@iij.ad.jp
[Allocated Date]                 1996/10/03
[Last Update]                    2014/07/31 17:16:00(JST)

Less Specific Info.
----------
No match!!

More Specific Info.
----------
Too many matches. Narrower expression, please.
maz@work:~$
```

場合分け

1. 最近の分配
   - APNICにも英語版複製(source: JPNIC)がある
2. 歴史的番号資源
   - APNICには個別の英語版複製がない → JPNICが資源保持者に見える
   - 事前に知っていればJPNICに問い合わせできる
     - https://github.com/rfc1036/whois/blob/next/ip_del_list
   - 資源移転すると最近の分配（1)と同じ扱いになる
3. 海外から移転した番号資源
   - APNICにも英語版複製(source: JPNIC)がある
   - 大抵のクライアントはAPNICの英語版複製で満足

共通の課題

- 連絡先として hostmaster@nic.ad.jp が見えがち
  - JPNIC担当分の資源には「IRT-JPNIC-JP」を登録
    - これの連絡先が hostmaster@nic.ad.jp
  - APNIC WHOISでは自動的に以下を応答
    - % Abuse contact for 'xxx' is 'hostmaster@nic.ad.jp'
- ほんとの連絡先が見えないんだよねえ
  - JPNICハンドルまではわかる
  - 知らない人はここから連絡先に辿り着けない

maz@iij.ad.jp

ハハハ、RDAPが全てを救うと言ったが あれは、嘘だ。

- APNICにあるJPNIC WHOIS英語版複製が応答されている状態
  - 歴史的番号資源はJPNICが保持者に見える（例:133.0.0.0/8）
  - 連絡先(Entity)の基本はIRT-JPNIC-JPとJNIC-AP（JPNIC連絡先が二つ）
- うまく探せても連絡先(Entity)はちょっと不思議
  - 登録者の連絡先とJPNICの二つ、合計三つあるように見える
  - なお登録者の情報はJPNICハンドル
    - 一応JPNIC WHOISのURL付きだけど

- 結果、RDAPでも連絡先はよくわからず、やっぱり hostmaster@nic.ad.jp が連絡先に見えちゃう

maz@iij.ad.jp

こんな感じ

つまり、課題の整理

- 歴史的IPアドレス
  - 知らないと、JPNICが資源保持者に見える
- 担当者の連絡先をどう見せるか
  - 現状JPNICハンドルが見える
    - JPNICハンドルにどうアクセスさせるか
    - RDAPだとWHOISへのURL付き
    - 自動化とは仲が悪い
  - 知らないと、JPNICも連絡先に見える

maz@iij.ad.jp

付録
https://github.com/rfc1036/whois/blob/next/whois.c

- JPNIC WHOIS対策
  - AS番号は「AS <番号>」に変換
  - LANGが日本語じゃなくて/eを忘れてそうなら「/e」を追加
- ARIN WHOIS対策
  - prefix検索には「r + = 」を先頭に追加
  - IPアドレス検索には「n + 」先頭に追加

付録
BSD系 WHOISクライアント

- ARINとRIPEのWHOISサーバ対策？
  - コメント部分を自動削除
  - 「-S」つけると全て見える
- 標準ではARIN WHOISで複数マッチした結果を「+」flagで展開 表示すると二つ目以降の情報が見えなくなる
  - なお、ARINサーバへの問い合わせには自動で「+」flagをつけてるけど 「-S」つけると「+」が自動でつかなくなるマジック

今後の展開

- WHOISはおいておいて、ひとまずRDAPに注力？
  - 方向性としてはあり、利用者まだ少ないけど
  - どうせ共通のDB使ってるので、一緒に解決できる（できない）のかも
- NIR共通の問題でもあるので、NIR間で調整の場を持つ？
  - やっといた方がいい。情報登録はそれぞれ異なっている
- JANOGとかで聞いてみる？
  - 問題を広く知ってもらっておくのはありかも